

東コミ福祉包括ケアシステム 実行委員会だより

R7-2号

発行日/2025. 7. 10

発行:東コミュニティ運営協議会 電話:504-1430

第2回福祉包括ケアシステム実行委員会 (R7. 7. 10)

福祉包括ケアシステムの第2回委員会を開催しました。

今回は、前回委員会で協議した認知症を対象とした机上搜索模擬訓練について、協議を行いました。

実施方法については、以下の通りです。

- ①第1次まちづくり計画で作成した SOS 搜索ネットに基づいて行う。
- ②訓練は、搜索シナリオを作成し、搜索対象者が不明となった日時、場所、氏名、年齢、不明時の状況など想定して行う。
- ③訓練の場所は東コミの多目的室で行う。配置は、区ごとに7区のテーブルを配置

し、設定シナリオに従って進めて行く。

- ④訓練終了後に振り返りを行い次の取組へと繋げていきたい。

【 机上模擬訓練の実施日程 】

- ① 搜索訓練実施日 8月28日(木)
- ② 実施時間 14時から
- ③実施場所 東コミ多目的室

会議で出された意見

- ① 区長不在時など、臨機応変に対応しなければならぬが、どう考えているか
・その場合の対応を訓練するもの
- ② 発生区の訓練の対応が確認できるようにしてほしい。
・多目的室なので全員確認が可能である
- ③ 実際のシナリオは、もっと詳細な設定が必要ではないか
・今日の内容は概要を説明した資料であり今後中身について詳細に設定するので、この部分は事務局に一任してほしい。
- ④これから、搜索協力者10名を決めるのか
・これは、区で決めているはずで、再度区長に説明し確認してもらう。

- ⑤この搜索者には、福祉部などが参加すべきではないか。

・今度の訓練は、福祉委員会の委員には参加してもらうことで考えている。搜索者の決定は、区長を中心に話し合っ決めてほしい。今度の役員会で説明を行う。

次回の委員会の開催について

次回は、今回行う模擬訓練の結果を見て日時を設定します。

※今回の模擬訓練は、福祉の「もやい」を意識してもらうことが大切だと考えています。これからは、認知症の行方不明者の発生を極力無くす努力をする取組を考えたいと思っています。

東地区搜索訓練のシナリオ（案）

訓練日：令和7年8月28日（木）

時 間：14時 ～ 15時30分

場 所：東コミュニティセンター 多目的室

参加者：各区・東地区コミュニティ連絡協議会・社会福祉協議会・東地区地域
包括支援センター・市（危機管理課・すこやか長寿課）

目 的：各区でグループになり、実際の行方不明を想定・訓練し、各区での初動
から終結までの課題を洗い出し、改善策を検討する。

訓練方法：机上訓練

【想定】令和7年9月3日（水） 15時発覚

氏 名：東 太郎 年齢：82歳 性別：男性



疾患名：アルツハイマー型認知症

年齢相応の衰えはあるものの杖を使わずに歩行できる

要介護度：要介護2（デイサービスを週3回利用）

家族構成：妻（7年前に他界）

長男（56歳・福岡市博多区在住）※週2回訪問

長女（52歳・関東在住）

※近隣にその他の親族はいない

生活歴：大野城市内で自動車整備工場を営んでいた。

7年前に妻が亡くなり、それ以降自身所有の持ち家にて独居生活。

3年前頃から、認知症の症状が出始め、2年前に介護保険を申請し
要介護2の認定が出たことで、週3回のデイサービスを利用。

食事は市の配食サービスを毎日利用。

生活必需品は定期的に訪問する長男が購入し届けている。

【行方不明時の状況】

- ・長男が訪問（14時）したところ、本人が不在であることを確認。
- ・ケアマネジャーに確認：本日はデイサービスの利用日ではなかった。
日頃の行動範囲を確認した。
- ・デイサービスに確認：前日の利用時に特に変わった様子はなかった。
- ・配食サービスに確認：本日12時に本人に手渡しした。特に変わった様子はなかった。
- ・長男は困り、区長に相談しようと15時に公民館に相談に来た。
- ・家族は、できるだけ迷惑をかけたくない。警察への届出も思い悩んでいる。

認知症 SOS ネットワーク検索訓練 次第（案）

日 時：令和7年8月28日（木） 14:00～15:30

会 場：東コミュニティセンター 多目的室

主 催：（予定）

共 催：（予定）

- 開会あいさつ（5分）

主催者挨拶

- 訓練の概要説明（10分）

- ・ 本訓練の目的と流れの確認
- ・ 訓練の必要性（課題背景）

- 模擬訓練（40分）

- ・ 東地区検索訓練のシナリオ（今回の想定）説明（目標）
 - ① 全員でSOSネットの手順を確認する。
 - ② 区の協力者名簿を更新する。
 - ③ 関係者、協力者との連絡方法を確認し、連絡体制を整える。

- 【班】ふり返り（20分）

- ・ 訓練を通じての気づきを付箋に記入
- ・ 模造紙に「良かった点」「改善すべき点」を貼り出す

- 【全体】質疑応答・意見交換（10分）

- ・ 訓練をとおして感じた疑問・質問、意見を発表
- ・ 「東コミ SOS 啓発チラシ」や「防災メールまもるくん」など啓発

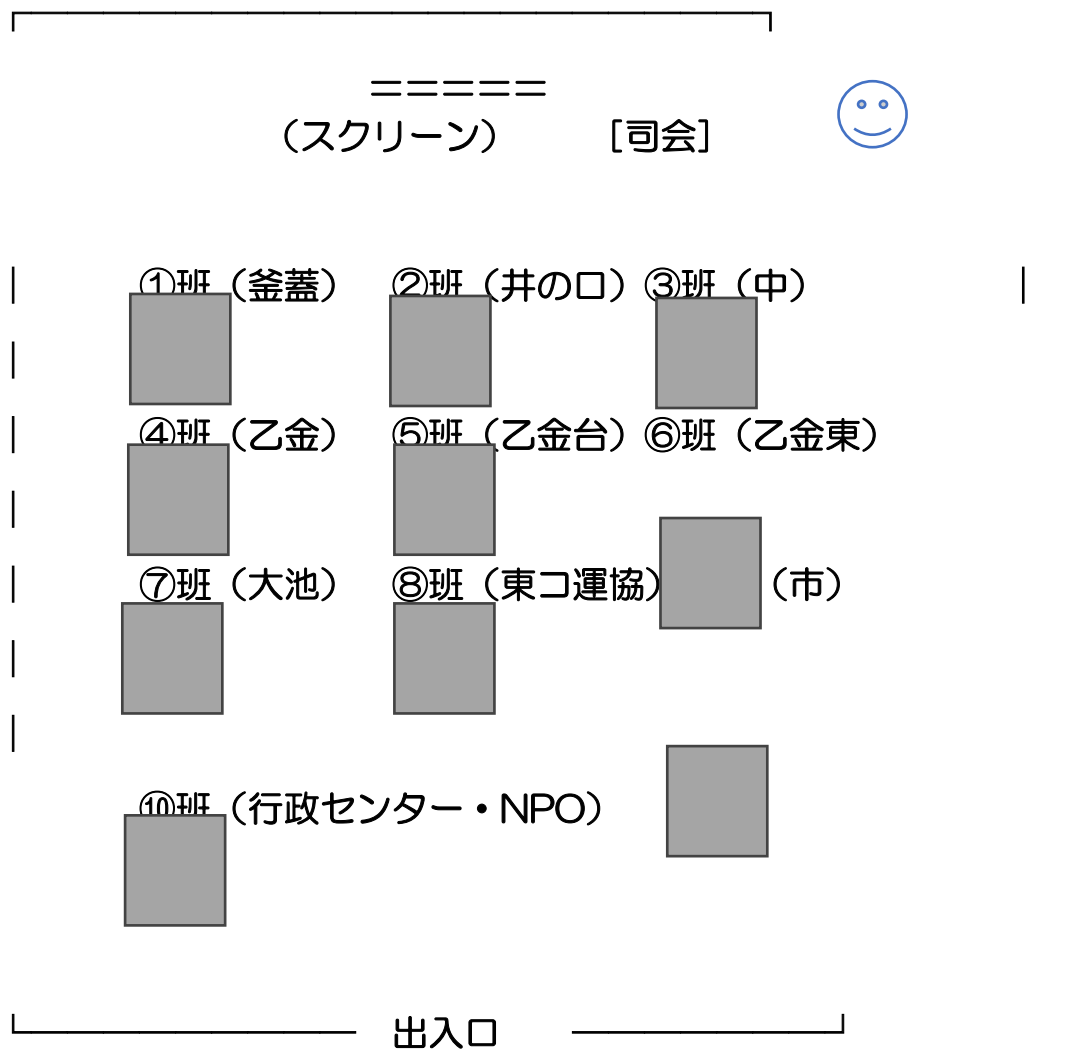
- 閉会あいさつ（5分）

*持ち物：筆記用具

*準備物：パソコン、プロジェクター、模造紙、付箋

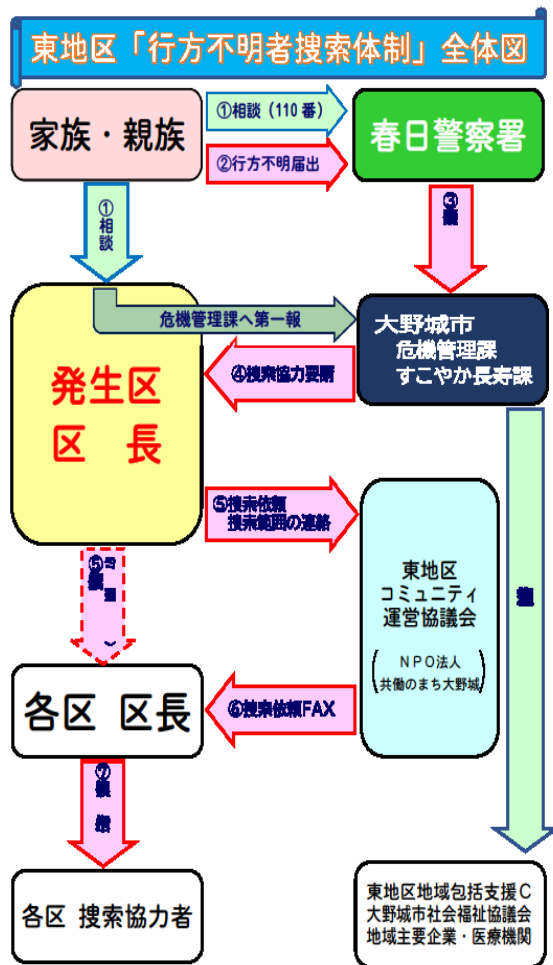
*配布資料：次第、シナリオ

模擬訓練会場レイアウト



*進行補助（包括、社協）を、2～3班に1名配置する。

第1次まちづくり計画で作成したSOSネット



搜索対応の流れ

《発生区長》

- ◇ 家族より行方不明の相談があった場合
 - (1) 家族等に、春日警察署へ「行方不明届出」の提出を促す。
 - (2) 危機管理課へ第一報を入れる。
 ※ 以下の対応は、「市役所より行方不明の連絡を受けた場合」と同じ
 - ◇ 市役所より行方不明の連絡を受けた場合
 - (1) 各区長へ捜索依頼。
 - (2) 区内の捜索協力者へ、捜索ポイント(地図)を的確に捜索依頼。
 - (3) 区長が中心となり家族・警察・市・東コミ・6区と情報連携。
 - ⑨ 発見救助の場合は、まず危機管理課へ連絡
- (注意) 行方不明者、依頼者の氏名又は家族、事情などについて口外厳守。

《各区長》

- (1) 依頼を受けたら、不明者の内容を確証、直ちに区内捜索協力者へ捜索要請。
- (2) 捜索要請は、捜索ポイント(地図)を的確に、範囲、捜索箇所を指示。
- (3) 区内捜索状況と結果を発生区長へ報告。

《各区捜索協力者》

- (1) 指示された捜索ポイントを中心に捜索。
- (2) 捜索は指示を受けてから60分以内で打ち切り。
- (3) 捜索協力者は捜索状況・結果を区長へ報告。
- (4) 発見又は不確証など捜索状況を自区区長へ報告し解散。

